

作って遊ぼう！ 造形コーナー

●監修／上田都美江（Tomi Art子ども造形研究所所長）

「でんでん太鼓」を作ろう！

でんでん太鼓は、江戸時代に赤ちゃんをあやすために広まった伝承玩具です。

●工夫して作しましょう

- ①牛乳パック2つを底から2cmの位置で切り、1つの牛乳パックの対角線上の角2カ所に割り箸の幅の切り込みを入れ、割り箸の厚さの所で折り曲げる。〈写真①〉
- ②割り箸の先を1cm出してセロテープで切り込みに合わせて貼る。〈写真②〉
- ③長さ約30cmの毛糸の両端に、ボタンや大き

いビーズを通してしっかり結び、セロテープで毛糸の中央を割り箸にとめる（毛糸の先にセロテープを巻くと通しやすい）。〈写真③〉

- ④毛糸を両側から出して、もう1つの切った牛乳パックを被せてセロテープでとめる。割り箸を赤いビニールテープで巻く。〈写真③〉
 - ⑤側面に赤いテープか色画用紙を貼り、縁には黒い色紙を貼る。パンチで開けて作った金色の丸い紙を貼って鈺の模様にする。〈写真④〉
 - ⑥完成。割り箸を振って音を出す。〈写真⑤〉
- ☆自由に模様を付けてオリジナルでんでん太鼓も作りましょう。〈写真⑥〉



1

切り込みの曲げた所と割り箸をセロテープで固定する



2

割り箸に毛糸をセロテープで貼る



3

毛糸を両角から出して、2つの牛乳パックをセロテープで固定する



4

でんでん太鼓の模様を付ける



5

完成。赤いテープを巻いた割り箸を回すと太鼓の音が出る



6

オリジナルのでんでん太鼓。干支のサルと雪の模様